

第1回白馬村地域公共交通検討委員会 会議録（要約）

召集年月日	平成20年5月28日（水）午後1時15分					
召集の場所	白馬村役場 201・202会議室					
開閉会の日時 及び宣言	開会	平成20年5月28日（水）午後1時15分	福祉係長	太田 洋一		
	閉会	平成20年5月28日（水）午後2時36分	議長	松澤 衛		
出席者数	委員数 15名の内 出席者 14名（内代理出席者1名）					
出席委員	職名	氏名	出欠	職名	氏名	出欠
	委員	速水政文	出	委員	栗田裕二	出
	委員	渡邊 宏	出	委員	上條良民	出
	委員	伊藤静江	出	委員	松沢英昭	出
	委員	降旗陽子	出	委員	風間雅裕	出
	副委員長	太谷義男	出	委員	辻 久明	欠
	委員	宮尾幸典	出	委員	太田 忠	出
	委員	宇佐美信義	出	委員長	松澤 衛	出
	委員	西沢信男 （代理：松本喜美人）	出			
事務局	住民福祉課福祉係長	太田 洋一	総務課企画情報係長	吉田 久夫		
	住民福祉課福祉係	田中克俊				
傍聴者	中沢 稔之（中日新聞） 小松 正幸（大系タイムス） 丸山 重雄（白馬新聞）					

1. 開 会

〔太田福祉係長〕 開会を宣言した。

2. あいさつ

〔太田総務課長〕 様々な自治体で高齢者の外出支援策を検討しバスなどを運行している。本村でも昨年
から調査、研究を行い、デマンドタクシーの運行を村長肝いりの事業として計画している。3月に発足
した地域公共交通会議では、デマンドタクシーの運行計画をこの検討委員会で策定することを決定した。
是非ご協力いただきたい。

3. 委員及び事務局職員の紹介

「資料1」委員名簿の順に各委員は自己紹介し、引き続き事務局職員も自己紹介した。

4. 委員長及び副委員長の選任

〔太田福祉係長〕 「資料2」検討委員会設置要綱第5条第1項に基づき、委員長及び副委員長の互選を
求めた結果、委員から「事務局の腹案は？」という声があり、委員長に松澤衛委員、副委員長に太谷義
男委員を提案し承認された。

5. 会議運営に関する事項の確認

〔議長：松澤委員長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：田中主査〕 「資料3」会議運営に関する確認事項に基づき次のとおり説明した。

- 会議時間は原則として概ね90分を限度とする。
- 会議及び会議資料は原則として公開する。
- 会議の録音及び写真撮影（ビデオ撮影を含む。）の申し出があった場合は委員長の許可を得る。
- 事務局による記名の会議録（要約）を作成し、委員長の了承を得て原則として公開する。
- 会議録は事務局で保存し委員の必要に応じて供覧する。
- 検討結果の報告は委員個人の意見ではなく委員会としての検討結果をまとめる。
- 上記以外に検討委員会の運営について必要な事項が生じた場合はその都度委員会で協議する。

〔議長：松澤委員長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。

〔速水委員〕 会議録の公開はホームページのほかに何か考えているか。

〔事務局：田中主査〕 会議録ではないが、検討の経過などについては、「広報はくば」に年2回ほど特集
として掲載したい。会議録や会議資料は住民福祉課の窓口に言っていただければお渡しする。

6. 協 議

(1) 運行計画の策定方針について

〔議長：松澤委員長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：田中主査〕 運行計画の策定方針について説明する前に、地域公共交通会議の委員と兼ねてい

ない委員は、乗合タクシーについての説明を受けていないため、別添資料1により乗合タクシーの概要について説明した。また、第1回地域公共交通会議に配布した「福祉交通施策の現状」と「高齢者の日常の外出活動と移動に関する調査」の2つの報告書を参考までに配布した。

引き続き「資料4」に基づいて運行計画の策定方針について説明した。運行目的は、「主に高齢者や自動車運転免許を持たない移動制約者の買い物、通院などの交通確保と社会参加を図る」とした。運行方式は、事業主体を白馬村とし、運行主体を一般乗合旅客自動車運送事業者とした。また、ここでいう一般乗合旅客自動車運送事業者とは、乗合運行の許可を持つタクシー事業者である旨付け加えた。運行方法はドア to ドアを基本としたデマンド型運行とする。サービスレベルのうち、利用対象者は最終的には全村民が利用できるシステムにしていかなければならないが、まずは高齢者等の交通弱者を対象に試験運行を行い、その状況に応じて本格運行時の対象者を検討するとした。予約方法は、電話予約を基本とするが簡易でわかりやすいシステムにする。また、実際の受付業務は白馬村社会福祉協議会に業務委託する予定である。運行日は、土日、祝日、年末年始を除く日と考えており、年間約240日程度の運行になる。運行便数は、需要調査を参考にして、買い物・通院の利便を考慮した便数を設定する。運行時間は午前8時30分から午後3時30分までの間に設定する。運賃の設定では、普通運賃は利用者の利便性を考慮しエリア内一律料金とするが、エリアについては今後検討していく。割引制度は、回数券や障害者等の割引制度を検討するが、将来的には商店などとタイアップしたセット割引なども検討していく。車両・設備では、車両数は2台を基本に考えている。また車両の仕様はジャンボタクシーを使用する。

今後はこの策定方針を基本として、住民意見を参考にするとともに、検討委員会での協議を経て、運行計画素案へとまとめていきたい。

〔議長：松澤委員長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めたが特になく、策定方針は了承された。

(2) 運行計画の策定スケジュールについて

〔議長：松澤委員長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：田中主査〕 「資料5」運行計画の策定スケジュールに基づき説明。まず運行体制であるが、この4月から保育園児の送迎を道路運送法第21条による試験運行として開始した。次いで11月からはデマンド型の運行を同じく21条による試験運行として実施する予定である。そして21年4月からは4条により本格運行を開始する。次に運行計画の策定だが、8月末を目途に素案を策定する。またこの素案を基本として、試験運行などのデータを反映させ、運行計画案を1月末までに策定し、21年4月からの本格運行に備える。

次に検討委員会であるが、本日第1回の会議を開催している。今後は、7月、8月を目処に会議を開催して、運行計画素案を策定し地域公共交通会議へ報告する。その後試験運行の状況やパブリックコメントの結果を考慮して、来年1月までに運行計画案を策定し、同様に地域公共交通会議へ報告する。平成21年度は諸課題によって適宜会議を開催したい。

次に住民参画であるが、6月から7月にかけて住民との意見交換を行う。その後、住民説明会を予定している。続いて11月から12月頃には計画案を策定するにあたって、素案を住民の皆さんに示し、それに対するパブリックコメントを募集する。さらに1月からは乗合タクシー車両の愛称を募集するなど、周知を兼ねたPR活動にも力を入れる。その後は、苦情や提言などをデータベース化し、それらを改善していくことによって、より利用しやすく、みんなに愛される地域の足となるように取り組んでいきたい。

〔議長：松澤委員長〕 事務局の説明に対して質疑・意見を求めた。また、11月に試験運行を開始した場合、タクシー乗車券の交付をやめる旨説明した。

〔栗田委員〕 利用者はどのくらい前に予約を入れるのか。

〔事務局：田中主査〕 他の自治体の例を見ると最短では30分前である。ただし受け付けた予約から最良の運行ルートを設定し、そのデータがタクシー車両へ転送されるといった高価なシステムを採用している場合が多い。また、木島平村では利用者が少ないことから高価なシステム無しに、30分前の予約を受け付けている。その他は、前日までの予約というところが多いようである。タクシー事業者と協議して決定していくこととなる。

〔速水委員〕 運賃はエリア内同一料金ということだが、エリアは1つを想定しているか。

〔事務局：田中主査〕 白馬村一円を1つのエリアとした場合、距離の遠近にかかわらず同一料金では、ある意味不公平かと思う。またエリアは運行時刻とも関連してくるので、今後考えていくことになる。

〔速水委員〕 使用車両は2台ということだが、試験運行の状況によって増やす可能性はあるか。

〔事務局：田中主査〕 タクシー乗車券の利用状況やアンケート調査から、1日の乗車人数が想定できることから、使用車両数が算出できる。また、タクシー事業者とは、予約がいっぱいになった場合の予備車両について協議をすることになる。

〔議長：松澤委員長〕 他に意見を求めたが特になく、事務局が示したスケジュールに沿って進めていくこととした。

(3) 意見交換会の実施について

〔議長：松澤委員長〕 事務局に説明を求めた。

〔事務局：田中主査〕 このたびの意見交換会はグループインタビューの手法を試みる。グループインタビューの長所は、数人を一度にインタビューでき、多くのデータを集められるため効率的である。また、話し合いを持つことにより、単純な勘違いや極端な見方を抑えることができ、ある程度代表的で共通性のある意見が得られると言われている。一方、短所としてはグループ全員の話を開くと時間がかかり、あまり多くの問題を議論できない。さらに特定の人ばかりが話さないように、インタビュアーが注意深く進行をコントロールしなければならない。

「資料6」目的は、「白馬村が実施する住民輸送サービスの運行計画策定に際し、より住民の意向を反映させるため、グループインタビューを行い、住民の意見を把握する」とした。開催方法だが、時期は6月から7月を予定している。方法は村内8～10地区で開催し、1回あたり1時間程度を考えている。参加メンバーは1ヵ所6～12名程度とし、人選は老人クラブやサークルなど既存のグループにお願いする。進行、議題のイメージは資料のとおりである。調査の結果報告であるが、グループインタビューの結果をテーマ別に「主な意見」として整理し次回の検討委員会で報告するとした。

〔議長：松澤委員長〕 事務局の説明に対して、質疑・意見を求めたが特になく、グループインタビューの開催箇所は村内平均的になるように配慮する旨付け加えた。

協議事項（１）から（３）までを通して質疑等を求めた。

〔渡邊委員〕 保育園児の送迎が始まって１ヶ月以上たった。何か問題等はあるか。

〔事務局：太田係長〕 同乗する職員の携帯電話が繋がらなかった点、乗車場所を事前に届けた箇所以外で乗車させなかった点について指摘があり改善した。また、１回だけの利用ができるように、回数券や１回の料金設定を設けてほしいという要望があった。

〔事務局：田中主査〕 料金は、運送業務を受託した白馬観光タクシーが、運輸局に届出を行って決定している。従ってすぐに変更ができない状況にある。

〔松沢委員〕 利用者ニーズから想定される目的地の設定はどこか。また何箇所くらいあるか。意見交換の際に聞いてほしい。

〔事務局：田中主査〕 フルデマンドを予定しているので目的地の設定はない。ただしアンケート調査の結果により主な行き先は把握している。

〔松沢委員〕 運行計画を立てるのに各路線の時間の幅をどのくらいにするか。利用者としては何時に車が来るのかわからないと不便である。

〔事務局：田中主査〕 路線を設けず区域運行を予定している。住民説明の折には、デマンドタクシーは時間に正確ではなく、何時から何時の間に到着するといった説明をして理解を求める。

〔風間委員〕 特にＪＲを利用する方が心配である。また意見交換会を行う際にはある程度の路線の提示を行うのか、まったく無いわけにはいかないと思うが。

〔事務局：田中主査〕 出発時刻の案を提示して意見を聞きたい。

〔伊藤委員〕 運転免許を持たない移動制約者とはどういう意味か。

〔事務局：田中主査〕 高齢者の中にはもちろん運転できる方もいるし、免許証はあっても公共交通が整備されれば免許証を返納するという方もいる。

〔伊藤委員〕 現在のタクシー乗車券利用の場合、タクシーの運転手が重い荷物を持って玄関まで運ぶなどのサービスをしてくれる。そういったことはできなくなるのか。

〔事務局：田中主査〕 乗合になるため、そこまでのサービスはできなくなる可能性はある。

〔風間委員〕 基本的にはサービスの低下がないようにと思っている。現在の自動車は車高が低くできているが、試験運行を行ってみて、乗降しにくいようならばステップを付けることもできる。

話は変わるが、安曇野市では利用者をあまり待たせることがないように、4人までの乗車で運行している。多くの人数を乗せるとそれだけ時間がかかる。

〔事務局：田中主査〕 安曇野市は都市型デマンドのため、利用者や目的地が点在している状況にある。白馬村の場合、ある程度の方向性があるため、もう少し乗車できると想定している。

〔降旗委員〕 タクシー乗車券がなくなると、買い物を持ってもらうなどのサービスが低下するのは困る。

〔松沢委員〕 基本的には業務の延長線上と考えているが、ある人にだけサービスを行えば不公平となり、逆に失礼にあたるケースもある。

〔上條委員〕 ジャンボタクシーでは入れない場所があると思っている方もいると思う。

〔松沢委員〕 運転手はいつも乗せている方の状況は把握しているが、そうでなければわからない。個人情報保護の問題もあるため、情報を事前にもらうのも難しい。例えば障害者の割引の場合、障害者手帳を提示するのか自己申告か。提示しない方もいるので考えていただきたい。

〔渡邊委員〕 白馬村と同規模の自治体の運行計画を提示していただければ参考になる。悪い面があればそれを修正する方向で検討できる。

〔事務局：田中主査〕 次回の会議で提供したい。

〔栗田委員〕 通院に利用する場合、付き添いの方は同乗できるか。

〔事務局：田中主査〕 そのようなことも計画に入れていく。

〔松沢委員〕 社会福祉協議会で受けた予約は、どのようにタクシー会社に送られるか。

〔事務局：田中主査〕 ファクシミリを想定している。

〔松沢委員〕 予約システムの導入を考えているようだが、配車までしてもらえるのか。

〔事務局：田中主査〕 システム自体は配車まではできない。受託する事業者の数やエリアの数によっても配車の方法は変わってくる。今後検討していく。

7. 閉 会

〔議長：松澤委員長〕 次回の会議にも活発な意見が出るようにお願いし、第1回白馬村地域公共交通検討委員会を閉会した。

以 上